

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-01		
施設名	荒川総合スポーツセンター				
所在地	南千住六丁目45番5号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	昭和60年	2,930,000			
増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400	2,178,076
増改築②					
併設施設	南千住野球場				
竣工年月日	昭和60年3月25日		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和60年6月2日		職員数	51	
構造	SRC造		階層	地上4階、地下1階	
面積	敷地面積		6,412.09 m ²		
	延床面積		12,638.35 m ²		
設置目的・経緯	スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況	57台	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	212台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	指定管理	TM共同事業体		期間	令和2年4月1日 令和7年3月31日	から まで
事業内容	①管理運営（小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2クラブ室） ②教室・講習会（通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分				
	休日	1月1日～1月3日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
	団体利用者数（人）	274,339	267,445	0	90,990	99,179
	個人利用者数（人）	228,278	217,745	0	89,068	97,084
	教室受講者数（人）	157,427	147,100	0	65,891	71,821
	大体育室稼働率（%）	91	92	0	92	93
	小体育室稼働率（%）	90	89	0	96	98
	教室開催数（回）	7,154	6,991	0	4,562	4,973
	教室申込率（%）	72	69.0	0	65	67
	開館日数（日）	358	344	0	300	327
に指定 用係る 等管理 費	指定管理料（千円）	99,957	97,122	0	92,649	169,660
	指定管理者の支出合計（千円）	273,878	268,587	0	249,965	306,989
	指定管理者の人員費（千円）	117,507	118,247	0	129,844	148,422
	指定管理者の利用料金収入（千円）	162,415	151,921	0	109,892	136,701
備考	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、休館（4月25日～5月31日）、定員を制限して段階的に利用再開（6月1日～3月31日）、段階的に教室を再開（7月20日～3月31日）、施設の利用時間を午後7時までに変更（1月9日～3月31日）、その他状況に応じ利用目的の制限等を実施したため、利用が大幅に減少した。					

III 財務諸表

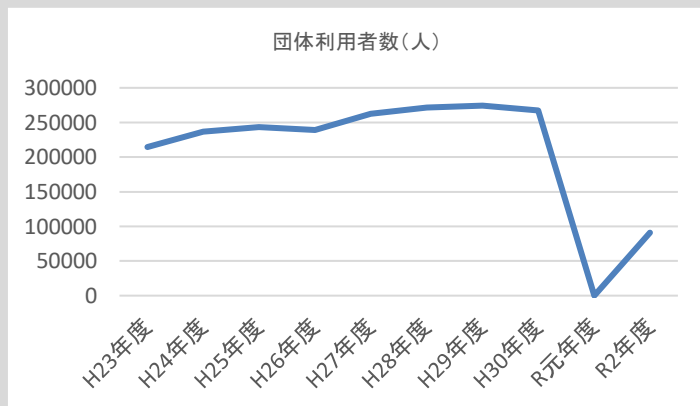
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0
	物件費	29,753	281,470	251,717		国庫支出金	0	0	
	維持補修費	0	0	0		都支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	補助費等	282	45,846	45,564		使用料及び手数料	0	3,047	
	減価償却費	79,066	241,634	162,568		その他	14,753	167	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	14,753	3,214	
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 162,547	▲ 565,736	
	その他行政費用	68,199	0	▲ 68,199		金融収支差額(d)	▲ 322	▲ 660	
	行政費用合計(b)	177,300	568,950	391,650		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 162,869	▲ 566,396	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 162,869	▲ 566,396	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	66,000	66,000
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	66,000
	固定資産	有形固定資産	4,686,408	4,444,774	▲ 241,634		賞与引当金	0	0
		土地	1,055,377	1,055,377	0		その他の流動負債	0	0
		建物	6,313,992	6,313,992	0	固定負債	1,793,400	1,727,400	▲ 66,000
		建物減価償却累計額	▲ 2,767,302	▲ 3,004,574	▲ 237,272		特別区債	1,793,400	1,727,400
		工作物等	96,066	96,066	0		退職給与引当金	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 11,725	▲ 16,087	▲ 4,362		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	1,793,400	1,793,400	
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産	2,893,008	2,674,050	
	その他の固定資産	0	22,676	22,676		正味財産の部合計	2,893,008	2,674,050	
	資産の部合計	4,686,408	4,467,450	▲ 218,958		負債及び正味財産の部合計	4,686,408	4,467,450	
備考	行政費用では、委託料（指定管理料）及び初度調弁費用（一般需用費・備品等）が物件費の多くを占めている。令和2年度は新型コロナウイルスによる減収補填を実施したため、補助費等が増加した。行政収入は、目的外使用料（自動販売機）と雑入（工事遅延違約金相当額等）である。								

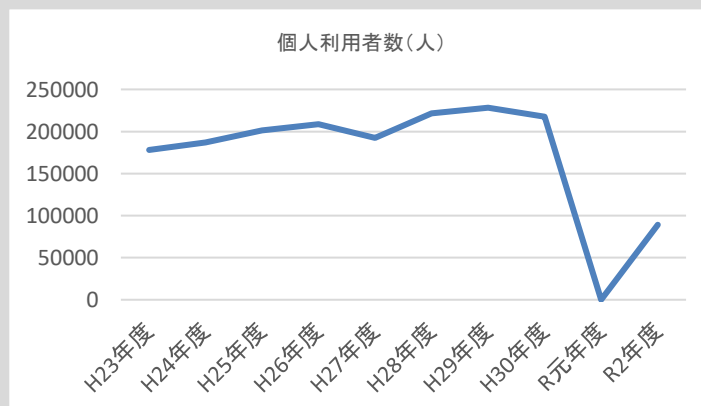
	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	89	92	43	47.1	
	1㎡当たりコスト(円)	14,914	15,893	14,685	47,122	
	人にかかるコストの割合(指定管理)(%)	43	44.0	-	-	
	利用者1人当たりコスト(円)	273	303	-	1,339	
	区民1人当たりコスト(円)	839	894	826	2,651	
	受益者負担比率(%)	46	42	-	25	
	開館1日当たりコスト(円)	502,986	557,834	-	1,896,500	
備考	区民1人当たり・開館1日当たりコストがスポーツハウス(委託方式で運営)と比較して低いのは、運営方法等の違いによるものである。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、稼働率が大幅に減少したことから、利用者1人当たりコスト等が大幅に増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用者数	649,163	632,290	0	245,949	268,084
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) ○ 無					
利用者・地域のニーズ	○ 区のスポーツ振興の中心的な施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ施設として利用されている。					
現状・課題	○ 令和元年度に実施した大規模改修で整備したバリアフリー機能を生かし、障がい者や高齢者を含む多くの区民がスポーツを楽しめる事業等を実施する必要がある。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策により、利用制限等が想定されるため、様々な場面に対応できるよう、施設運営や事業等を検討する。					
課題に対する現時点での考え	○ 障がい者スポーツに関わる資格を有する職員の育成、地域との連携強化について指定管理者に働きかけを行う。 ○ 新型コロナウイルス感染症対策として、スポーツ庁を始めとしたスポーツ関係団体のガイドラインや運用方法を参考にしつつ、当施設の実情にあわせた対策を行う。					
議会、利用者等からの意見	○ H28年決特 スポーツセンター 指定管理の決算について ○ H29年予特 大規模改修時の代替施設について ○ R1年9月会議 利用料金改定について ○ R2年度決得 混雑時の利用者対応について					



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、平成30年度比で約6割減少した。



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、平成30年度比で約6割減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-02		
施設名	荒川遊園スポーツハウス				
所在地	西尾久八丁目3番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
建築	平成5年	3,070,000			
増改築①					
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成5年6月24日		区職員	その他	
供用開始年月日	平成5年7月26日		職員数	79	
構造	RC造 (一部S造)		階層	地上3階、地下1階	
面積	敷地面積		1399.9m ² m ²		
	延床面積		4493.12m ² m ²		
設置目的・経緯	広く区民の利用に供し、区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツの振興に寄与する。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川遊園スポーツハウス条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	● エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	45台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和3年4月1日 令和4年3月31日	から まで	
事業内容	①施設の管理運営 (アリーナ、トレーニングルーム、会議室1, 2、事務室、温水プール) ②教室運営 (通年制水泳教室、通年制スポーツ教室、アリーナ自由会員制教室等)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分				
	休日	年末年始 (12月29日から1月3日)、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)
	団体利用者数 (人)	17,535	16,322	19,102	7,799	8,000
	個人利用者数 (人)	88,271	93,761	112,851	46,015	47,000
	教室受講者数 (人)	54,341	58,029	57,545	33,888	34,000
	アリーナ稼働率 (%)	49	49	55	30	31
	会議室稼働率 (%)	24	23	18	9	10
	教室開催数 (回)	2,285	2,468	2,366	1,487	1,547
	教室申込率 (%)	50	53	55	55	56
	開館日数 (日)	355	355	322	298	310
	委託料 (千円)	101,825	95,811	103,212	104,612	108,431
に指定 等管理 費用						
備考	令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、個人利用中止(4月1日～7日)、休館(4月8日～5月31日)、定員を制限して段階的に利用再開(6月1日～3月31日)、段階的に教室を再開(7月20日～3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日～3月31日)、その他状況に応じ利用目的の制限等を実施したため、利用が大幅に減少した。					

III 財務諸表

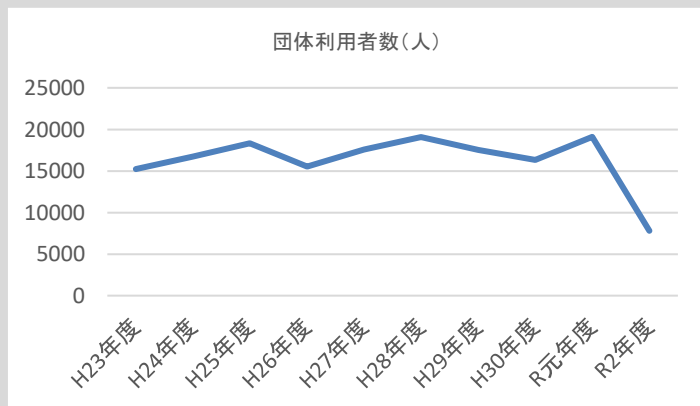
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	行政費用	給与関係費	11,639	13,309	1,670	行政収入	地方税等	0	0
	物件費	190,566	156,638	▲ 33,928		国庫支出金	0	0	
	維持補修費	0	850	850		都支出金	0	0	
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	
	補助費等	0	693	693		使用料及び手数料	45,900	23,408	
	減価償却費	87,728	87,728	0		その他	32,259	17,931	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	78,159	41,339	
	賞与・退職給与引当金繰入額	956	692	▲ 264		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 212,730	▲ 218,571	
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	
	行政費用合計(b)	290,889	259,910	▲ 30,979		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 212,730	▲ 218,571	
	特別費用(g)	0	0	0		特別収入(f)	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0		当期収支差額(e)+(h)	▲ 212,730	▲ 218,571	
								▲ 5,841	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0
	固定資産	有形固定資産	950,616	864,960	▲ 85,656		賞与引当金	0	0
		土地	0	0	0		その他の流動負債	0	0
		建物	3,111,239	3,111,239	0	固定負債	0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 2,160,622	▲ 2,246,278	▲ 85,656		特別区債	0	0
		工作物等	37,588	37,588	0		退職給与引当金	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0		その他の固定負債	0	0
	無形固定資産	0	0	0		負債の部合計	0	0	
	建設仮勘定	3,461	3,461	0		正味財産	960,293	872,565	
	その他の固定資産	6,216	4,144	▲ 2,072		正味財産の部合計	960,293	872,565	
	資産の部合計	960,293	872,565	▲ 87,728		負債及び正味財産の部合計	960,293	872,565	
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、委託料(管理運営等)が大部分を占めている。1階防火シャッターの危害防止装置の設置に伴い、維持補修費が増加した。また、使用料の過年度還付を行ったため、補助費等が増加した。行政収入では、新型コロナウイルスの影響により使用料等が減少した。行政収入のその他は、自動販売機電気使用料と教室収入である。								

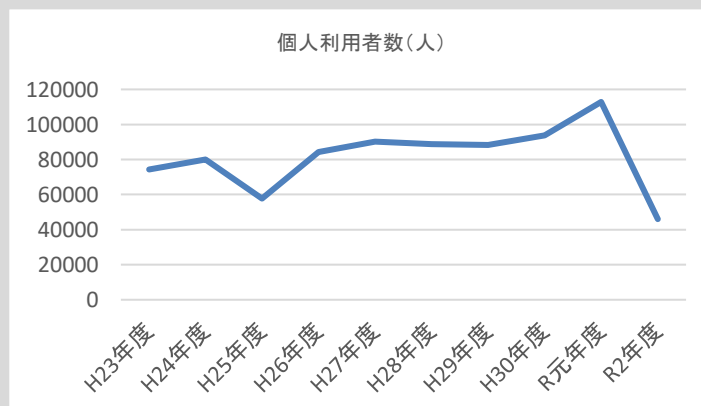
	指標	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	64	67	70	72.5	
	1㎡当たりコスト(円)	64,215	63,148	64,741	57,846	
	受益者負担比率(%)	15	17	16	9.0	
	開館1日当たりコスト(円)	812,749	799,245	903,382	872,181	
	利用者1人当たりコスト(円)	1,802	1,688	1,535	2,964	
	区民1人当たりコスト(円)	1,344	1,322	1,355	1,211	
備考	管理運営は委託方式を採用しているため、荒川総合スポーツセンターと比較して物件費が多くかかっていることにより、開館1日当たりコスト・利用者1人当たりコストが多くかかっている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、稼働率が大幅に減少したことから、利用者1人当たりコストが大幅に増加した。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用者数	目標値 -	実績値 160,147	-	168,097	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他(指定管理者制度の導入検討)					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	○ 尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。					
現状・課題	○ 施設や設備の計画的な修繕・改修を実施する必要がある。 ○ バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○ 荒川総合スポーツセンターとの連携を含め、効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○ 利用者からの意見・要望を踏まえて、関係機関と打合せを行いながら、特色のある施設運営や修繕において改善を検討する。 ○ 指定管理者制度の導入を含めて検討を進める。					
議会、利用者等からの意見	○ H26 6月定例会 ボルダリングの設置について ○ H29 予特 音響設備の更新、会議室什器の更新、子ども用便座の設置について ○ H30 決特 施設の老朽化・使い勝手及び今後の回収予定・方針の検討について					



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により、団体利用者数が増加したが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により減少した。



令和元年度は、荒川総合スポーツセンター大規模改修工事の影響により、個人利用者数が増加したが、令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03			
施設名	南千住野球場					
所在地	南千住六丁目45番6号					
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課					
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
	建築	昭和57年7月	5,600,000	国・都	区債	一般財源
	増改築①					
	増改築②					
併設施設						
竣工年月日	昭和57年7月		区職員	その他		
供用開始年月日	昭和57年7月		職員数			
構造			階層			
面積	敷地面積			17,415	m ²	
	延床面積				m ²	
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。					
関連部署						
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例					
駐車場の状況	57台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ		
駐輪場の状況	212台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ		



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務(野球場2面): TM共同事業体(R2.4.1~R7.3.31) ②補修管理(野球場2面、外周): ケルンビルシステム(R3.4.1~R4.3.31)				
対象者	一般区民他、区民以外も可				
運営時間等	運営時間	4~10月9:00~20:45(日・祝は7:00~)、11~2月9:00~15:30、3月9:00~17:30			
	休日	年始1/1~1/3			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	野球場利用者数		24,876	21,492	13,554	15,210
野球場(件数)		1,382	1,194	753	845	1,044
稼働率		49	44	26	35	39
開場日数		362	314	357	308	347
委託料(円)		12,215,753	9,680,972	11,190,501	14,876,982	12,622,760
に指定 等管理 費理						

備考 休日を中心に利用されているが、平日の利用者も多い。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、利用自粛要請(4月1日~7日)、休館(4月8日~5月31日)、利用再開(更衣室は利用不可)(6月1日~19日)、定員を制限して更衣室利用再開(7月10日~3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日~3月31日)等を実施したため、利用が減少した。

III 財務諸表

(単位:千円)

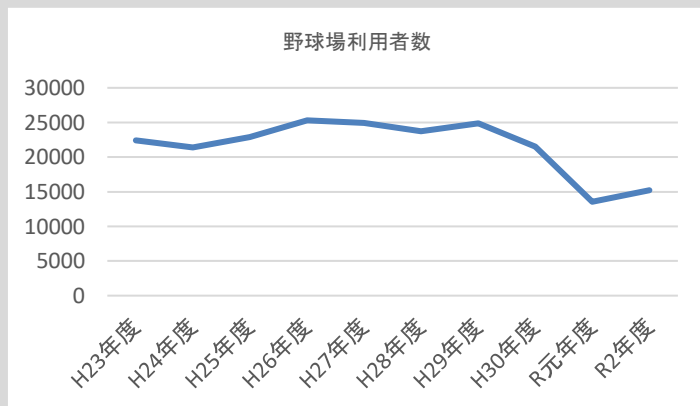
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
物件費	30,119	14,878	▲ 15,241	国庫支出金	0	0	0	
維持補修費	297	0	▲ 297	都支出金	0	0	0	
扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
補助費等	1	0	▲ 1	使用料及び手数料	1,739	1,746	7	
減価償却費	54	54	0	その他	0	0	0	
不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,739	1,746	7	
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 28,732	▲ 13,186	15,546	
その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)	30,471	14,932	▲ 15,539	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 28,732	▲ 13,186	15,546	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 28,732	▲ 13,186	15,546	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0	
不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0	
その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0	
有形固定資産	3,067,213	3,067,160	▲ 53	その他の流動負債	0	0	0	
土地	3,066,735	3,066,735	0	固定負債	0	0	0	
建物	0	0	0	特別区債	0	0	0	
建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0	
工作物等	350,077	350,077	0	その他の固定負債	0	0	0	
工作物等減価償却累計額	▲ 349,599	▲ 349,652	▲ 53	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産	3,067,213	3,067,160	▲ 53	
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	3,067,213	3,067,160	▲ 53	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	3,067,213	3,067,160	▲ 53	
資産の部合計	3,067,213	3,067,160	▲ 53					

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、照明点検、受付業務等)が大部分を占めている。行政収入は、運動場の使用料収入である。

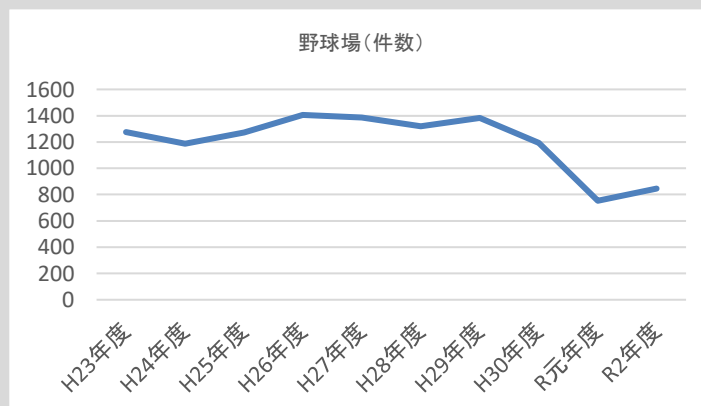
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100	100	100	99.9	
	1㎡当たりコスト(円)	826	897	1,750	857	
	受益者負担比率(%)	21	18	6	11.7	
	開館1日当たりコスト(円)	39,754	49,761	85,353	48,481	
	利用者1人当たりコスト(円)	579	727	2,248	982	
	区民1人当たりコスト(円)	67	73	142	70	
備考	平成30年度は荒川総合スポーツセンターの大規模改修工事に伴い、開場日数が減少したため、開館1人当たりのコストが増加した。その他の各コストについては、大きな変動なく推移している。他の野球場と比較して1人当たりに要するコストが低いのは、立地状況が良く、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 1,044
		実績値 1,382	実績値 1,194	実績値 753	実績値 845	実績値 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	立地に恵まれ、設備も整っているため平日昼間の利用率が高い。					
現状・課題	○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の安全対策が必要である。 ○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすいため、剪定や消毒などの対策が必要である。 ○野球場外周の樹木については、倒木等の可能性もあるため管理が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○施設周辺の歩行者等への注意喚起を図るとともに、施設の安全対策(樹木剪定、防球ネット設置の検討)を実施する。					
議会、利用者等からの意見						



令和元年度は、令和元年9月1日から令和2年3月31日まで工事に伴う一部休場により利用者数が減少した。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少した。



令和元年度は、令和元年9月1日から令和2年3月31日まで工事に伴う一部休場により利用件数が減少した。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04		
施設名	東尾久運動場				
所在地	東尾久七丁目1番1号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	平成3年5月			
	増改築①				
併設施設					
竣工年月日	平成3年5月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成3年5月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		29,195 m ²		
	延床面積		114 m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	60台	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約90台	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①管理：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ-オ-スリ-、多目的広場：シルバー人材センター（R3.4.1～R4.3.31） ②補修：テニス5面（人工芝）、小広場、スリ-オ-スリ-、多目的広場：北川商会（R3.4.1～R4.3.31） ③駐車場管理運営業務：タイムズ24株式会社（R3.4.1～R.6.31） ④多目的広場トイレ清掃：シルバー人材センター（R3.4.1～R4.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4～9月9:00～18:00、10・3月9:00～17:00、11～2月9:00～16:00（4～10月土日祝7:00～、11～12月土日祝8:00～）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
		庭球場、多目的広場等利用者数	26,824	23,900	47,154	37,595
庭球場、多目的広場等（件数）	8,732	10,372	11,455	9,161	9,930	
稼働率（庭球場）	51	52	59	50	53	
稼働率（多目的）	49	24	58	56	47	
開場日数	359	359	359	305	344	
委託料（円）	18,887,040	18,501,387	24,635,271	26,113,962	28,944,867	
に指定 等管理 費理						

備考 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、利用自粛要請(4月1日～7日)、休館(4月8日～5月31日)、利用再開(更衣室は利用不可)(6月1日～19日)、定員を制限して更衣室利用再開(7月10日～3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日～3月31日)等を実施したため、利用が減少した。平成30年度9月以降は、維持補修経費がかかっている。

III 財務諸表

(単位:千円)

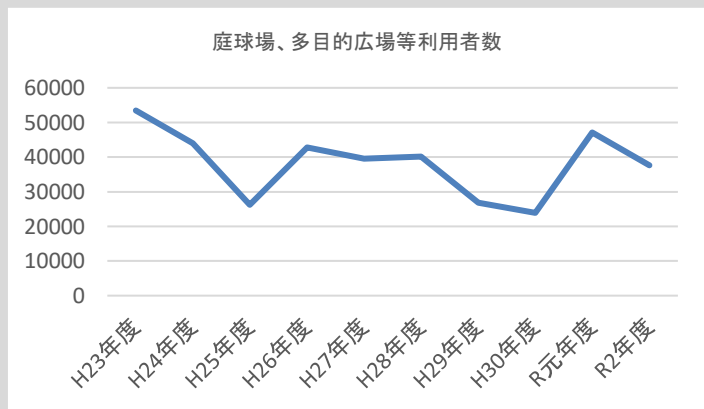
行政コスト計算書	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額			
	給与関係費				0	0		0	地方税等	0	0	0	
物件費				32,383	32,415	32	国庫支出金	0	0	0			
維持補修費				499	4,522	4,023	都支出金	0	0	0			
扶助費				0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0			
補助費等				14	0	▲14	使用料及び手数料	14,923	13,625	▲1,298			
減価償却費				6,611	6,611	0	その他	90	66	▲24			
不納欠損・貸倒引当金繰入額				0	0	0	行政収入合計(a)	15,013	13,691	▲1,322			
賞与・退職給与引当金繰入額				0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲24,494	▲41,407	▲16,913			
その他行政費用				0	11,550	11,550	金融収支差額(d)	0	0	0			
行政費用合計(b)				39,507	55,098	15,591	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲24,494	▲41,407	▲16,913			
特別費用(g)				0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)				0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲24,494	▲41,407	▲16,913			
貸借対照表	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	
	流動資産				0	0	0	流動負債				0	0
不納欠損引当金				0	0	0	還付未済金				0	0	0
その他の流動資産				0	0	0	特別区債				0	0	0
有形固定資産				87,796	96,334	8,538	賞与引当金				0	0	0
土地				0	0	0	その他の流動負債				0	0	0
建物				43,776	43,776	0	固定負債				0	0	0
建物減価償却累計額				▲25,352	▲26,797	▲1,445	特別区債				0	0	0
工作物等				114,550	129,279	14,729	退職給与引当金				0	0	0
工作物等減価償却累計額				▲45,178	▲49,925	▲4,747	その他の固定負債				0	0	0
無形固定資産				0	0	0	負債の部合計				0	0	0
建設仮勘定				0	0	0	正味財産				90,729	98,848	8,119
その他の固定資産				2,933	2,514	▲419	正味財産の部合計				90,729	98,848	8,119
資産の部合計				90,729	98,848	8,119	負債及び正味財産の部合計				90,729	98,848	8,119

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)が大部分を占めている。その他行政費用は、東尾久運動場庭球場ABC面人工芝改修工事により、金額が増加した。行政収入は、運動場の使用料収入と自動販売機電気使用料であり、新型コロナウイルスの影響により減少した。

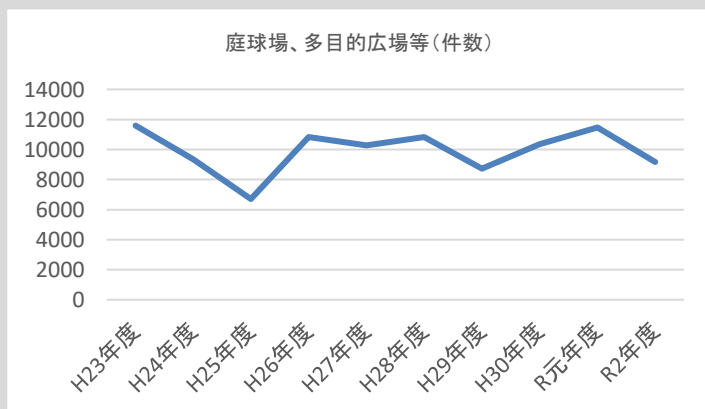
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・ 評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	90	41	45	44.3	
	1㎡当たりコスト(円)	1,928	2,695	1,394	1,945	
	受益者負担比率(%)	7	11	38	24.7	
	開館1日当たりコスト(円)	152,162	212,660	110,047	180,649	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,036	3,194	838	1,466	
	区民1人当たりコスト(円)	255	356	184	257	
備考	平成29年度の開館1日当たりコスト、利用者1人当たりコストが高いのは、拡張整備工事により施設を休場(H29.5~H30.9)していたことによるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	実績値 8,732	10,372	11,455	9,161	9,930
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	テニスコートは平日も含め利用率が高い					
現状・課題	○テニスコートDE面の人工芝については、安全に利用できるよう対策を行う必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○安全に利用できる状態にするため、テニスコートの人工芝の一部については改修を行う。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について					



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少した。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により利用件数が減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-05		
施設名	区民運動場				
所在地	西尾久三丁目14番3号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和54年3月			
	増改築①	平成27年4月	370,000		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和54年3月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和54年3月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		7,339 m ²		
	延床面積		569 m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	20台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで	
事業内容	①管理業務 (管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : シルバー人材センター (R3.4.1~R4.3.31) ②補修業務 (多目的グラウンド・小広場・駐輪場) : 中田興業 (R3.4.1~R4.3.31) ③清掃業務 (管理事務所) : 新菱ビルサービス (R3.4.1~R6.3.31)					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	土日祝の9:00~17:00 (5月~9月は1時間延長可)				
	休日	平日、年末年始12/29~1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (見込み)
	多目的グラウンド利用者数	7,722	8,712	8,976	7,194	8,151
	小広場利用者数	1,278	1,318	1,320	1,024	1,235
	多目的グラウンド (件数)	351	396	408	327	371
	小広場 (件数)	639	659	660	512	618
	稼働率 (多目的)	97	96	98	93	96
	稼働率 (小広場)	85	80	82	74	80
	開場日数	119	115	119	82	109
	委託料 (円)	6,335,414	6,540,580	7,227,843	6,465,025	7,124,033
に指定 等管理 費用						
備考	土日祝の貸出であるため、稼働率は高く推移している。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、利用自粛要請(4月1日~7日)、休館(4月8日~5月31日)、利用再開(更衣室は利用不可)(6月1日~19日)、定員を制限して更衣室利用再開(7月10日~3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日~3月31日)等を実施したため、利用が減少した。					

III 財務諸表

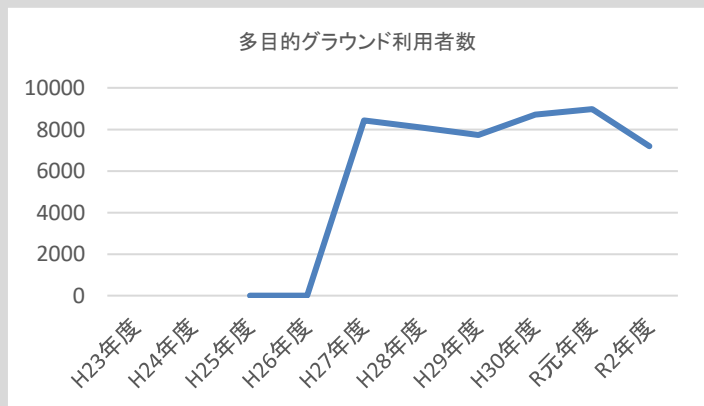
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	7,555	6,916	▲ 639	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	58	58	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1	0	▲ 1	使用料及び手数料	653	583	▲ 70
	減価償却費	30,940	30,940	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	653	583	▲ 70
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 37,843	▲ 37,331	512
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	38,496	37,914	▲ 582	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 37,843	▲ 37,331	512
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 37,843	▲ 37,331	512	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	1,134,366	1,103,426	▲ 30,940	その他の流動負債	0	0	0
	土地	709,032	709,032	0	固定負債	0	0	0
	建物	217,754	217,754	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 41,155	▲ 47,035	▲ 5,880	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	374,039	374,039	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 125,303	▲ 150,364	▲ 25,061	負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	1,134,366	1,103,426	▲ 30,940
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	1,134,366	1,103,426	▲ 30,940	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	1,134,366	1,103,426	▲ 30,940	
資産の部合計	1,134,366	1,103,426	▲ 30,940					
備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち、委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)が大部分を占めている。令和2年度の維持補修費は、工作物の修繕費用である。行政収入は、運動場の使用料収入であり、新型コロナウイルスの影響により減少した。							

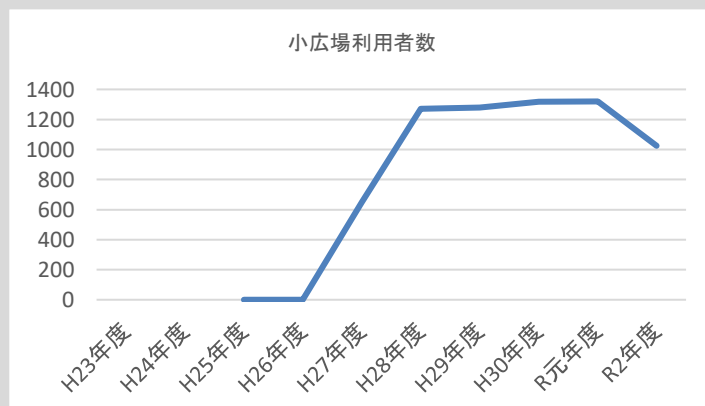
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	18	23	28	33.4	
	1㎡当たりコスト(円)	5,125	5,211	5,245	5,166	
	受益者負担比率(%)	2	2	2	1.5	
	開館1日当たりコスト(円)	316,050	332,530	323,496	462,366	
	利用者1件当たりコスト(円)	4,179	3,813	3,739	4,614	
	区民1人当たりコスト(円)	175	178	179	177	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。1日当たりコストが他の運動場と比較して高いのは、平日は中学校として使用しているため、土日祝のみの可動によるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	990	1,055	1,068	839	989
施設運営の方向性	<input type="radio"/> 転用・多目的化 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 民営化 <input type="radio"/> その他() <input type="radio"/> 他施設との統合 <input type="radio"/> 廃止					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから利用者が多い。					
現状・課題	<input type="radio"/> 駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、対応が必要である。 <input type="radio"/> 小広場では日陰がないため、熱中症対策が必要である。 <input type="radio"/> 人工芝は劣化していくため、今後は補修対応が必要となってくる。					
課題に対する現時点での考え	<input type="radio"/> 大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 <input type="radio"/> 日除けを確保するなどの熱中症対策を行う。あわせて、気温と人工芝の表面温度について計測し、必要に応じて利用者へ注意喚起を行う。 <input type="radio"/> 施設の補修について、計画的に対応していく。					
議会、利用者等からの意見						



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少した。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、利用者数が減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-06		
施設名	荒川遊園運動場				
所在地	西尾久八丁目1番2号				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和62年4月			
	増改築①	平成5年10月	140,000		
増改築②					
併設施設					
竣工年月日	平成5年4月		区職員	その他	
供用開始年月日	平成5年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		5,430 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	無	バリアフリー	<input type="radio"/> エレベーター	<input type="radio"/> だれでもトイレ	
駐輪場の状況	無	対応状況	<input type="radio"/> 点字ブロック	<input type="radio"/> スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①受付・開閉場（運動場）：株式会社日新ウエルネス（R3.4.1～R4.3.31） ②補修業務（運動場）：上園緑地建設（R3.4.1～R4.3.31） ③樹木剪定（運動場・スポーツハウス）：総合造園（R3.4.1～R4.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度（見込み）
	運動場利用者数		20,940	21,160	20,380	16,660
運動場（件数）		1,047	1,058	1,019	833	989
稼働率		64	57	71	60	63
開場日数		359	359	359	305	344
委託料（円）		6,482,592	6,193,951	7,400,194	9,484,553	10,115,171
に指定 等管理 費理						

備考 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、利用自粛要請(4月1日～7日)、休館(4月8日～5月31日)、利用再開(更衣室は利用不可)(6月1日～19日)、定員を制限して更衣室利用再開(7月10日～3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日～3月31日)等を実施したため、利用が減少した。

III 財務諸表

(単位:千円)

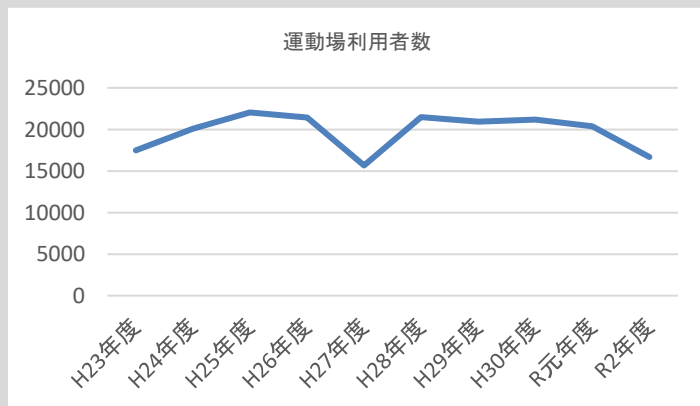
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
物件費		7,509	9,483	1,974	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		79	39	▲40	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		0	0	0	使用料及び手数料	1,108	1,057	▲51
減価償却費		0	0	0	その他	0	0	0
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	1,108	1,057	▲51
賞与・退職給与引当金繰入額		0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲6,480	▲8,465	▲1,985
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		7,588	9,522	1,934	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲6,480	▲8,465	▲1,985
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲6,480	▲8,465	▲1,985	
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産				その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債			
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	140,235	140,235	0	その他の固定負債	0	0	0
工作物等減価償却累計額	▲140,235	▲140,235	0	負債の部合計	0	0	0	
無形固定資産	0	0	0	正味財産				
建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	0	0	0	
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0	
資産の部合計	0	0	0					

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料（日常補修業務、外周樹木剪定）が大部分を占めている。行政収入は、運動場の使用料収入であり、新型コロナウイルスの影響により減少した。

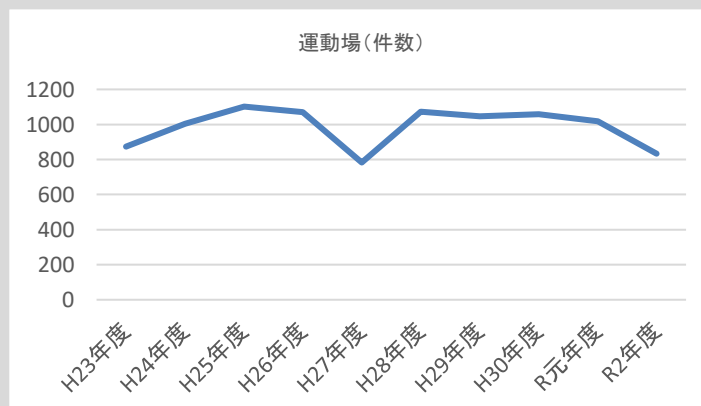
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	
	1㎡当たりコスト(円)	1,309	1,278	1,397	1,754	
	受益者負担比率(%)	15	18.0	15	11.1	
	開館1日当たりコスト(円)	19,802	19,329	21,136	31,220	
	利用者1人当たりコスト(円)	339	328	372	572	
	区民1人当たりコスト(円)	33	32	35	44	
備考	施設規模が大きくないため、開場1日当たり・利用者1日当たり・利用者1人当たりコストのいずれも他と比較して低コストで運営ができています。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 989
		実績値 1,047	実績値 1,058	実績値 1,019	実績値 833	実績値 -
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、ゲートボール、地域のイベントなど様々な活用がなされている。					
現状・課題	○多目的な利用(サッカー・野球・地域のイベント等)が可能のため、各団体ごとに求めるグラウンド条件が異なる。 ○強風時に砂ぼこりが発生しやすいため、散水等の対策が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○各団体と調整を図るなど運動場の特性を生かした運用を図る。 ○強風が予想される際には、事前に散水を行ったり利用者や協力して、散水を実施するなどして、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。					
議会、利用者等からの意見	○H29決特 平日の運動場の開放について					



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少した。



令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により利用件数が減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07		
施設名	西新井橋野球場				
所在地	足立区千住元町36番7号先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
	建築	昭和34年4月	国・都	区債	一般財源
	増改築①	平成27年5月	101,079		
併設施設					
竣工年月日	昭和34年4月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和34年4月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積				35,057 m ²
	延床面積				m ²
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	50台	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約150台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場):ケルンビルシステム (R3.4.1~R4.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター (R3.4.1~R4.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
	野球場利用者数		19,998	20,646	11,196	11,412
野球場(件数)		1,111	1,147	622	634	879
稼働率		15	14	9	9	12
開場日数		359	359	203	305	344
委託料(円)		17,370,097	19,390,277	41,599,059	60,006,533	17,559,066
に指定 等管理 費用						

備考 令和元年度は台風による冠水被害に伴う休場のため、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による利用自粛要請(4月1日~7日)、休館(4月8日~5月31日)、利用再開(更衣室は利用不可)(6月1日~19日)、定員を制限して更衣室利用再開(7月10日~3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日~3月31日)等を実施したため、利用が減少した。

III 財務諸表

(単位:千円)

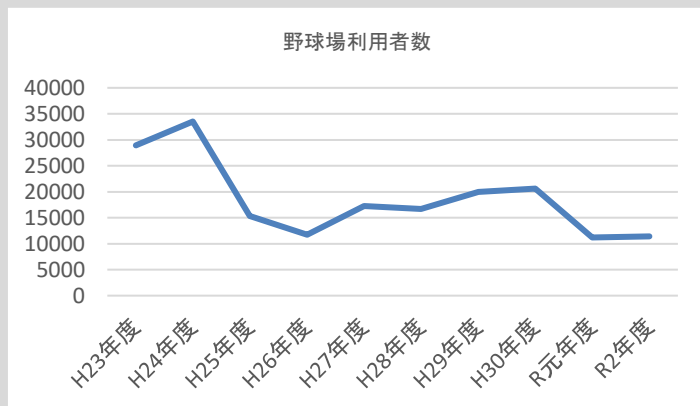
行政コスト計算書	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0
	物件費	112,951	42,473	▲ 70,478	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	49,711	49,711	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3	0	▲ 3	使用料及び手数料	341	439	98
	減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	341	439	98
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 119,833	▲ 98,965	20,868
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	120,174	99,404	▲ 20,770	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 119,833	▲ 98,965	20,868
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 119,833	▲ 98,965	20,868
貸借対照表	勘定科目	R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	特別区債	0	0	0
	有形固定資産	86,765	79,545	▲ 7,220	賞与引当金	0	0	0
	土地	993	993	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	14,660	14,660	0	固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 2,878	▲ 3,326	▲ 448	特別区債	0	0	0
	工作物等	101,223	101,223	0	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 27,233	▲ 34,005	▲ 6,772	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	86,765	79,545	▲ 7,220
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	86,765	79,545	▲ 7,220
	資産の部合計	86,765	79,545	▲ 7,220	負債及び正味財産の部合計	86,765	79,545	▲ 7,220

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和元年度に発生した台風による冠水被害の復旧整備委託を令和元年度から2年度にかけて行ったため、物件費及び維持補修費が増加した。行政収入は、運動場の使用料収入である。

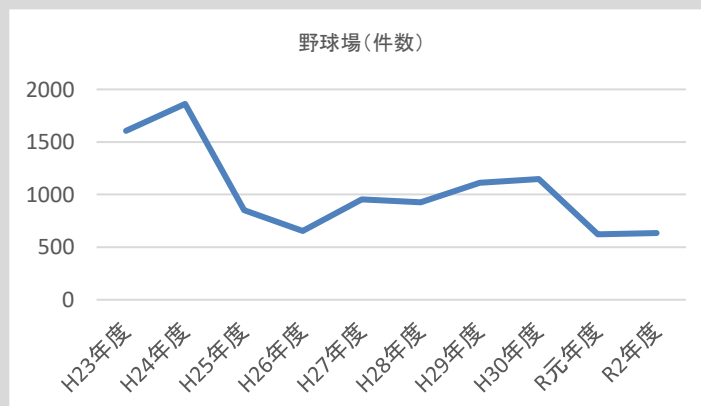
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費(%)	14	20	26.0	32.2	
	1㎡当たりコスト	1,467	1,492	3,428	2,835	
	受益者負担比率(%)	1	1	0	0.4	
	開館1日当たりコスト(円)	143,237	145,680	591,990	325,915	
	利用者1人当たりコスト(円)	2,571	2,533	10,734	8,710	
	区民1人当たりコスト(円)	240	244	560	463	
備考	開館1日当たり、利用者1日当たりコストが高いのは、当施設は河川敷に設置しているため、平日の利用が少ないことによるものである。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 879
	実績値	1,111	1,147	622	634	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、貸出ルールや運営方法などソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用者数が減少した。
令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少した。



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用件数が減少した。
令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少した。

令和3年度 施設分析シート

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08		
施設名	少年運動場				
所在地	足立区小台一丁目22番地先				
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)		
			国・都	区債	一般財源
	建築	昭和45年11月			
	増改築①	平成28年1月	79,380		
	増改築②				
併設施設					
竣工年月日	昭和45年11月		区職員	その他	
供用開始年月日	昭和45年11月		職員数	0	1
構造			階層		
面積	敷地面積		47,647 m ²		
	延床面積		m ²		
設置目的・経緯	区民の体力向上と健康の増進を図ることを目的とする。				
関連部署					
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例				
駐車場の状況	92台	バリアフリー	○ エレベーター	● だれでもトイレ	
駐輪場の状況	約290台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ	



II 管理運営の状況

管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から まで
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) :ケルンビルシステム (R3.4.1~R4.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場):シルバー人材センター (R3.4.1~R4.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込み)
		野球場、サッカー場等利用者数	79,824	78,880	48,876	60,922
野球場、サッカー場等(件数)	4,218	4,230	2,648	3,225	3,580	
稼働率(野球場)	27	27	31	25	28	
稼働率(サッカー場)	28	25	22	24	25	
稼働率(多目的)	35	28	10	30	26	
開場日数	359	359	203	305	344	
委託料(円)	29,567,471	27,908,133	73,362,695	105,832,752	28,405,176	
に指定 等管理 費理						

備考 令和元年度は台風による冠水被害に伴う休場のため、令和2年度は新型コロナウイルスの影響による利用自粛要請(4月1日~7日)、休館(4月8日~5月31日)、利用再開(更衣室は利用不可)(6月1日~19日)、定員を制限して更衣室利用再開(7月10日~3月31日)、施設の利用時間を午後7時までに変更(1月9日~3月31日)等を実施したため、利用が減少した。

III 財務諸表

(単位:千円)

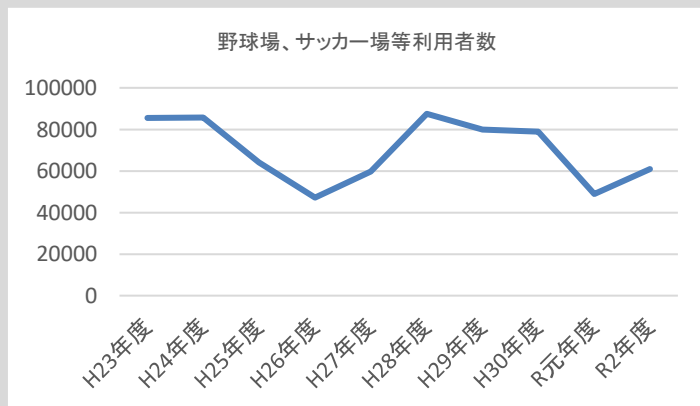
行政コスト計算書	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	勘定科目	R元年度	R2年度	差額			
	給与関係費				0	0		0	地方税等	0	0	0	
物件費				5,892	7,584	1,692	国庫支出金	0	0	0			
維持補修費				499	67,441	66,942	都支出金	0	0	0			
扶助費				0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0			
補助費等				2	0	▲2	使用料及び手数料	486	673	187			
減価償却費				918	918	0	その他	0	39	39			
不納欠損・貸倒引当金繰入額				0	0	0	行政収入合計(a)	486	712	226			
賞与・退職給与引当金繰入額				0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲6,825	▲75,231	▲68,406			
その他行政費用				0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0			
行政費用合計(b)				7,311	75,943	68,632	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲6,825	▲75,231	▲68,406			
特別費用(g)				0	0	0	特別収入(f)	0	0	0			
特別収支差額(f)-(g)=(h)				0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲6,825	▲75,231	▲68,406			
貸借対照表	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	勘定科目			R元年度	R2年度	差額	
	流動資産				0	0	0	流動負債				0	0
不納欠損引当金				0	0	0	還付未済金				0	0	0
その他の流動資産				0	0	0	特別区債				0	0	0
有形固定資産				20,461	19,543	▲918	賞与引当金				0	0	0
土地				0	0	0	その他の流動負債				0	0	0
建物				13,574	13,574	0	固定負債				0	0	0
建物減価償却累計額				▲1,792	▲2,240	▲448	特別区債				0	0	0
工作物等				74,848	74,848	0	退職給与引当金				0	0	0
工作物等減価償却累計額				▲66,169	▲66,639	▲470	その他の固定負債				0	0	0
無形固定資産				0	0	0	負債の部合計				0	0	0
建設仮勘定				0	0	0	正味財産				20,461	19,543	▲918
その他の固定資産				0	0	0	正味財産の部合計				20,461	19,543	▲918
資産の部合計				20,461	19,543	▲918	負債及び正味財産の部合計				20,461	19,543	▲918

備考 行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和元年度に発生した台風による冠水被害の復旧整備委託を令和元年度から2年度にかけて行ったため、物件費及び維持補修費が増加した。行政収入のその他は冠水被害における施設修繕の共済金である。

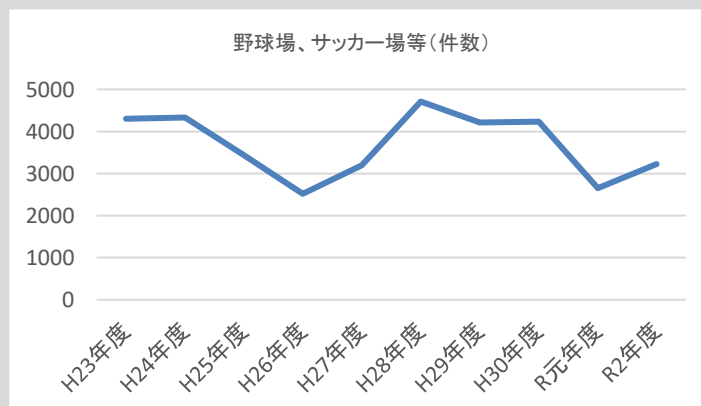
指標		H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率(%)	70	76	77	77.9	
	1㎡当たりコスト(円)	247	173	153	1,594	
	受益者負担比率(%)	9	10	7	0.9	
	開館1日当たりコスト(円)	32,811	22,950	36,015	248,993	
	利用者1人当たりコスト(円)	148	104	150	1,247	
	区民1人当たりコスト(円)	55	38	34	354	
備考	各コストとも、大きな変動なく推移している。日常補修に要する経費が「西新井橋野球場」に含まれるため、開館1日当たり・1人当たりコストが低くなっている。					

IV 施設運営の方向性(所管の考え方)

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)					
目標指標	指標名・単位	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度(見込み)
	利用件数	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 -	目標値 3,580
	実績値	4,218	4,230	2,648	3,225	-
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他()					
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無					
利用者・地域のニーズ	少年野球7面を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。					
現状・課題	○河川敷に設置しているため、河川管理上の制約があることから、施設の整備についても制約がある。					
課題に対する現時点での考え	○利用者が安全かつ快適に利用できるよう、貸出ルールや運営方法などのソフト面での対応について検討する。					
議会、利用者等からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について					



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用者数が減少した。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少した。



令和元年度は、台風による冠水被害により運動場が使用できなかったため、利用件数が減少した。令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により例年より減少した。